

# 工事特記仕様書

## (趣旨)

第1条 この特記仕様書は、川越市建設工事標準請負契約約款及び川越市上下水道局土木工事共通仕様書に定めるもののほか、工事に関し必要な事項を定めるものとする。

## (適用)

第2条 この特記仕様書は、川越市上下水道局下水道課の発注する「新河岸北第6処理分区マンホールポンプ施設改築工事」に適用する。

## (建設発生土の搬出先)

第3条 民間ストックヤード又は改良プラントに搬出すること。

2 建設発生土の搬出先は下記の施設とする。ただし、当該施設の受入れ状況等により別の施設を選定する場合には、事前に監督員と協議のうえ承諾を得ること。なお、搬出に先立ち施設の受入条件等を確認し、監督員に報告すること。

搬出先施設

有限会社リオン

川越市大字鹿飼847

## (施工条件)

第4条 施工時間については、原則午後9時から午前5時までの夜間施工とする。

## (マンホール形式ポンプ場の管理者との調整)

第5条 本工事は、供用中のマンホール形式ポンプ場の改築工事であるため、管理者である川越市上下水道局上下水道管理センターと調整を行うこと。

## (交通規制)

第6条 本工事は、原則として片側交互通行による施工を行うものとし、道路使用許可条件を遵守して施工しなければならない。

ただし監督員が必要と認め、警察との協議が整った場合は、規制方法・区間・期間等を変更することができる。

## (安全対策)

第7条 交通誘導警備員の基本的な配置計画は、1日あたり3人～5人以上を配置する。なお、交通誘導警備の1級又は2級検定合格証明書の交付を受けた交通誘導警備員を1人以上配置すること。

(中間検査)

第8条 中間検査の実施回数は2回とする。

(下検査)

第9条 技術管理課による検査前に、監督員立会いのもと現場にて下検査を実施するので対応すること。

(耐スリップ蓋の使用)

第10条 川越市上下水道局下水道課の承認を受けた製品であること。

(耐圧防水蓋について)

第11条 本工事で使用する耐圧防水蓋は、川越市市章及びでんき文字入りの製品を使用すること。

(試験掘工)

第12条 受注者は、工事着手前に地下埋設物の確認のため、試験掘を行うこと。試験掘の位置については監督員と協議のうえ決定すること。

(止水工事前調査工)

第13条 受注者は、止水工着手前に既設マンホール形式ポンプ場に流入する下水の流量を確認するため、事前調査を行うこと。調査の位置及び方法については監督員と協議のうえ決定すること。

(地下水の水質)

第14条 観測井における地下水観測のため、水質分析を行う際には事前に監督員と時期等について協議し、検査に支障のないよう調整すること。

(週休2日制適用工事)

第15条 本工事は「週休2日制適用工事（現場閉所型）」の対象工事である。実施は、川越市週休2日制適用工事要領（土木工事）（令和6年11月1日施行）によるものとする。要領は、川越市総務部技術管理課ホームページで確認のこと。

(工事書類（写真）電子納品)

第16条 本工事は、「川越市工事書類（写真）電子納品運用取扱基準」の対象工事である。取扱基準は、川越市総務部技術管理課ホームページで確認のこと。

＊川越市土木工事共通仕様書は、川越市総務部技術管理課ホームページで確認

のこと。

川越市総務部技術管理課ホームページ

<https://www.city.kawagoe.saitama.jp/shisei/info/1007964/1007974/1007978.html>

以上

## 舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書

(趣旨)

第1条 この特記仕様書は、アスファルト舗装版切断時に発生する濁水（以下「濁水」という。）の処理に関し必要な事項を定めるものとする。

(適用)

第2条 この特記仕様書は、川越市上下水道局の発注するアスファルト舗装版の切断作業に適用する。

(濁水の処理)

第3条 受注者は、舗装版切断作業を行いながら濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した濁水を産業廃棄物の汚泥（油分を含む汚泥）として中間処理施設に運搬及び処理するものとする。

(共通事項)

第4条 受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結し、その契約書の写し及び処分業者の許可証の写しを提出すること。

2 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結し、その契約書の写し及び運搬業者の許可証の写しを提出すること。

3 受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票（以下「マニフェスト」という。）により管理するものとし、工事完了後、速やかにマニフェストの原本を監督員に提示し確認を受けなければならない。監督員が写しを求めた場合は、写しを提出すること。

(その他)

第5条 濁水処理量については、舗装版の切断延長や切断厚が変わった場合を除き、原則として設計変更の対象としないものとする。

2 受注者は、舗装版切断時に濁水を生じない工法を使用する場合においては、事前に監督員と協議するものとする。

3 この特記仕様書に疑義等が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。

以上

新河岸北第 6 処理分区

マンホールポンプ施設改築工事  
(ポンプ口径  $\phi 100$ 、3 号人孔)

機械・電気設備

特 記 仕 様 書

# 目 次

## 第1章 総 則

- 1－1 適 用 範 囲
- 1－2 一 般 事 項
- 1－3 納 品 図 書
- 1－4 検 査
- 1－5 材 料 保 管
- 1－6 保 証 期 間
- 1－7 引 継 ぎ

## 第2章 ポンプ設備

- 2－1 水中汚水ポンプ
- 2－2 予 旋 回 槽
- 2－3 空 気 抜 用 弁
- 2－4 逆 止 弁
- 2－5 仕 切 弁
- 2－6 槽 内 配 管
- 2－7 付 帯 設 備
- 2－8 複 合 工

## 第3章 電 気 設 備

- 3－1 盤 共 通 事 項
- 3－2 制御盤(既設流用)
- 3－3 水 位 計

## 第4章 据 付 工 事

- 4－1 据 付 工 事 概 要
- 4－2 ポンプ設備工事
- 4－3 電 気 設 備 工 事
- 4－4 仮 設 工
- 4－5 撤 去 工

## 第 1 章 総 則

### 1－1．適用範囲

本特記仕様書は、「新河岸北第 6 処理分区マンホールポンプ施設改築工事」に適用する。

### 1－2．一般事項

(1) 本仕様書に特に定めていない事項については監督員との打合せによるものとする。

(2) 受注者は、工事施工にあたり諸法規を遵守しなければならない。

- 1) 労働基準法
- 2) 労働安全衛生法
- 3) 建設業法
- 4) 公害対策基本法
- 5) 水質汚濁防止法
- 6) 大気汚染防止法
- 7) 悪臭防止法
- 8) 下水道法
- 9) 電気事業法
- 10) 道路交通法
- 11) 騒音規制法
- 12) その他関係法令、条例

(3) 受注者は、工事施工にあたり諸規格に準拠しなければならない。

- 1) 日本産業規格（JIS）
- 2) 日本電機工業会規格（JEM）
- 3) 建設業法
- 4) その他関連の規格

(4) 工事施工に必要な関係官公庁、その他の者に対する諸手続きは、監督員の承諾を得、受注者において迅速に処理するものとする。

### 1－3．納品図書

(1) 納品図書は、製作仕様書、外形図、構造図、据付図、電気結線図、及びその他の必要な図面より成り、各 3 部提出するものとする。

(2) 納品図書に訂正があれば、その部分を明示した訂正納品図書を、前記要領で再提出するものとする。

#### 1－4．検査

製作工場においてポンプは JIS B 8301、JIS B 8302 に基づき、組立完成後に性能試験を行い、制御盤は耐圧試験、動作試験を行うものとする。

現地において絶縁抵抗試験及び接地抵抗試験を実施し、試運転にて正常な運転が行われていることを確認するものとする。

#### 1－5．材料保管

工事の竣工まで機器、材料の保管の責任は請負者にあるものとする。

#### 1－6．保証期間

(1) 機器の保証期間は規定による引渡しを受けた日から1箇年とする。

(2) 保証期間内に明らかに請負者の設計、製作、施工の不備に起因する故障が生じた場合は、請負者の責任において直ちに修理または取替えをしなければならない。

#### 1－7．引継ぎ

完成検査後、上下水道管理センターへの引継ぎ（現地立会い）の際には、操作等の説明を行うこととする。

## 第2章 ポンプ設備

### 2-1. 水中汚水ポンプ

#### 1. 使用目的

流入する汚水を圧送又は揚水するものである。

#### 2. 仕様

| 項 目                       | 仕 様                                                 | 備 考                                |
|---------------------------|-----------------------------------------------------|------------------------------------|
| (1) 形 式                   | 改良型ノンクログタイプ                                         | 着脱装置<br>吸込ベルマウス 付<br>予旋回槽 φ1500FRP |
| (2) 口 径                   | φ100 mm                                             |                                    |
| (3) 吐 出 量                 | 1.650 m <sup>3</sup> /min                           |                                    |
| (4) 全 揚 程                 | 7.2 m                                               |                                    |
| (5) 効 率                   | メーカーによる                                             |                                    |
| (6) 回 転 速 度               | 1500 min <sup>-1</sup>                              |                                    |
| (7) 使 用 材 料               | ケーシング：FC200 以上（着脱曲胴含む）<br>羽根車：SCS13<br>主 軸：SUS420J2 |                                    |
| (8) 電 動 機 出 力             | 5.5 kW                                              |                                    |
| (9) 周 波 数                 | 50 Hz                                               |                                    |
| (10) 電 圧                  | 三相 200V                                             |                                    |
| (11) 水中ケーブル長              | 45 m                                                |                                    |
| (12) ポンプます底から<br>上部床までの高さ | — m                                                 |                                    |
| (13) 数 量                  | 2 台                                                 |                                    |

#### 3. 構造概要

本ポンプは汚水を移送するもので、汚水中において連続運転に耐える堅ろうな構造とする。また、振動や騒音が少なく、円滑に運転できるとともに有害なキャビテーション現象が発生しないような構造とする。

#### 4. 製作条件

- (1) 最大通過粒径は 100mm とする。
- (2) 気中にて 30 分連続運転が可能なものとする。

## 5. 各部の構造

### (1) ケーシング

- 1) ケーシングは内部圧力および振動等に対する機械的強度ならびに腐食・摩耗を考慮した良質の鋳鉄製品とする。
- 2) ケーシングは分解組立が容易な構造とする。

### (2) 羽根車

- 1) 羽根車は吸込み流路を螺旋形状とし、回転中心の低圧部に異物が詰まらない構造とすること。
- 2) 羽根車は良質強靱な製品とし、固形物の混入に対し堅牢であること。  
また、羽根車は平衡を十分取るとともに表面を滑らかに仕上げること。

### (3) 主 軸

主軸は電動機軸を延長したもので伝達トルクおよび振り振動に対しても十分な強度を有すること。

### (4) 軸封装置

軸封部にはメカニカルシールを用い、運転中あるいは停止中を問わず、異物がモータ内に侵入しないよう中間に油を密封した二段構造とする。

### (5) 軸 受

回転部重量および水カスラストは電動機に内装した軸受で支持するものとし、長時間の連続運転に耐え、円滑な自己潤滑ができる構造とする。

### (6) フランジ

配管との接続フランジは、JIS B 2220 に準じること。また、ポンプます内配管および分解用フランジのボルト、ナットは SUS304 とする。

## 6. 保護装置

- (1) 異常温度上昇を検知するマイクロサーマルプロテクタを内蔵すること。
- (2) 水のモータ部侵入を検知する浸水検知器を設け、故障表示が可能な構造とすること。

## 7. 塗 装

鋳鉄部等、塗料による防食処理が必要な箇所は、エポキシ樹脂系塗料で、膜厚 0.2mm 以上の塗装を施すものとする。

#### 8. ポンプ付属品 (1 台に付き)

|                                              |     |
|----------------------------------------------|-----|
| (1) 水中ケーブル                                   | 1 式 |
| (2) 吊り上げ用チェーン (SUS304)                       | 1 式 |
| (3) ポンプ着脱装置 (FC200 以上)<br>(ガイドパイプ等要部 SUS304) | 1 式 |
| (4) 基礎ボルト、ナット (SUS304)                       | 1 式 |
| (5) 吸込ベルマウス (SUS304)                         | 1 個 |

### 2－2．予旋回槽

#### 1. 概 要

浮遊物や沈殿物を巻込んで排出させるために、ポンプの吸込流れを利用して渦流を発生させる構造とする。

#### 2. 仕 様

|     |                |
|-----|----------------|
| 形 式 | 分割組立式予旋回槽      |
| 材 質 | FRP            |
| 形 状 | 3 号 (φ 1500) 用 |
| 数 量 | 1 槽            |

### 2－3．空気抜用弁

#### 1. 概 要

本弁は、ポンプ吐出管に設け管内の空気を排出しポンプのエアロックを防止するためのものである。

#### 2. 仕 様

|      |                 |
|------|-----------------|
| 設置場所 | ポンプ吐出管          |
| 弁 体  | φ 25 mm (S C S) |
| フロート | エボナイト           |
| 数 量  | 2 台             |

## 2－4．逆止弁

### 1. 使用目的

ポンプ吐出側に設け、ポンプ停止時の逆流を防止するものである。

### 2. 仕 様

| 項 目             | 仕 様      | 備 考 |
|-----------------|----------|-----|
| (1) 形 式         | ボール式     |     |
| (2) 口 径         | φ 100 mm |     |
| (3) 使 用 水       | 汚水       |     |
| (4) フ ラ ン ジ 規 格 | JIS 10K  |     |
| (5) 数 量         | 2 台      |     |

### 3. 構造概要

本弁は、水中汚水ポンプの吐出側に取付け、停電その他によりポンプが急停止した場合、流水の逆流を防止するために設置するもので、作動確実にして耐久性を有するものとする。

### 4. 製作条件

- (1) 本弁は、ポンプ停止時の流水の逆流を防止するため、強い衝撃に耐え、堅ろうな構造とする。
- (2) 開閉動作は円滑に行えること。

### 5. 各部の構造

- (1) 本弁は両フランジ形ボール式構造とする。ケーシングは良質なステンレス鋳鋼製（SCS13）とし、腐食および摩耗を考慮すること。
- (2) 弁体は耐摩耗性、耐衝撃性を有するゴムを使用し、正確に閉止が行い得るものとする。

### 6. 使用材料

- (1) 弁 箱            ステンレス鋳鋼    (SCS13)
- (2) 弁 体            合成ゴム            (ボール式)

## 2－5．仕切弁

### 1. 使用目的

主ポンプの吐出側に設け、止水を行うものである。

### 2. 仕 様

| 項 目             | 仕 様     | 備 考 |
|-----------------|---------|-----|
| (1) 形 式         | ボール式    |     |
| (2) 口 径         | φ100 mm |     |
| (3) 使 用 水       | 汚水      |     |
| (4) フ ラ ン ジ 規 格 | JIS 10K |     |
| (5) 数 量         | 2 台     |     |

### 3. 構造概要

本弁は、止水を行うために設置するもので、作動確実にして耐久性を有するものとする。

### 4. 製作条件

- (1) 本弁はボール式止水弁とする。
- (2) 開閉動作は円滑に行え、閉鎖時には漏水のない十分な機能を有すること。

### 5. 各部の構造

各部の構造は次による。

- (1) 本弁は両フランジ形ボール式構造とする。
- (2) 弁箱の鋳造品は、鋳巣、歪等のない良質のステンレス鋳鋼製（SCS13）で十分な肉厚をもち、強度剛性を有するものとする。

### 6. 使用材料

- (1) 弁 箱            ステンレス鋳鋼（SCS13）
- (2) 弁      体            ステンレス鋼      （SUS304）

## 2-6. 槽内配管

(1) 本工事で施工する配管の範囲は、下記の通りとする。

| 配管名称  | 口 径         | 管 種 | 施 工 範 囲             | 備 考 |
|-------|-------------|-----|---------------------|-----|
| 槽内内配管 | φ 100～φ 150 | SUS | ポンプ吐出口<br>～槽内集合管取合部 |     |

(2) 配管材料

1) 一般的配管材料を下表に示す。

| 呼 称          | 規 格        |             |        | 備 考 |
|--------------|------------|-------------|--------|-----|
|              | 番 号        | 名 称         | 記 号    |     |
| ステンレス<br>鋼 管 | JIS G 3459 | 配管用ステンレス鋼鋼管 | SUS-TP | 水配管 |

2) 鋼管等は、日本産業規格（JIS）に定められている製品を使用する。

## 2-7. 付帯設備

本工事で施工する鋼製加工品類の範囲は、下記の通りとする。

| 用 途    | 数 量 | 形 式  | 形 状 ・ 寸 法         | 材 料    | 備 考 |
|--------|-----|------|-------------------|--------|-----|
| 流入バップル | 1 組 | 鋼板加工 | φ 250 用<br>L=2000 | SUS304 |     |
| 流入バップル | 1 組 | 鋼板加工 | φ 250 用<br>L=5300 | SUS304 |     |

## 2-8. 複合工

本工事で施工する複合工の範囲は、下記のとおりとする。

| 工 種           | 数 量  | 形 状 ・ 寸 法 | 材 料      | 備 考 |
|---------------|------|-----------|----------|-----|
| 予旋回槽底部コンクリート工 | 1 箇所 | φ 1500    | 無筋コンクリート |     |

## 第3章 電 気 設 備

### 3-1. 盤共通事項

#### (1) 制御盤概要

- 1) 盤の主要構造材料は、収納機器の重量、作動による衝撃などに十分耐える強度を有するものとする。
- 2) ドアには鍵を設ける。
- 3) 屋外形は防雨性を有し、雨水のたまらない構造とする。
- 4) 盤類の形状及び寸法は、設計図を参照し、納品図書において決定するものとする。
- 5) 自動通報装置を設ける。(LTE 回線経由で上下水道管理センターへ通報)
- 6) 停電時対応として自家発電機接続用端子を設ける。

(仕様：定格電圧 440V、極数 3P+アース、端子形状 プラグ差し込み型逆心  
(プラグ側メス、制御盤側オス))

#### (2) 主 回 路

- 1) 主回路の電圧は交流 200V とする。
- 2) 主回路に用いる母線及び接続導体は銅を使用し、規定の条件のもとに定格電流及び定格短時間電流を流しても十分にこれに耐えるものとする。  
絶縁電線を用いる場合は原則として 600V ビニル絶縁電線 IV (JIS C 3307)  
または、電気機器用ビニル絶縁電線 KIV (JIS C 3316) を使用するか、または、  
同等品以上とする。

#### (3) 制御回路

- 1) 制御電源は主回路より分岐する。
- 2) 制御回路に用いる電線は原則として 600V ビニル絶縁電線 IV (JIS C 3307) または、電気機器用ビニル絶縁電線 KIV (JIS C 3316) に規定されたもので、断面積が  $1.25\text{mm}^2$  以上を使用し、かつ可動部は、十分可とう性があるものとする。  
ただし、電流容量、電圧降下などに支障がなく保護協調がとれれば細い電線を使用してもよいものとする。
- 3) 電線被覆の色別は、JEM 1122 により下記の色別を行うものとする。

|               |    |
|---------------|----|
| 計器用変圧器二次回路    | 黄色 |
| 変 流 器 二 次 回 路 | 黄色 |
| 制 御 回 路       | 黄色 |
| 接 地 回 路       | 緑色 |

- 4) 盤内照明や自動通報装置等は別途 100V 電源 (定額電灯または従量電灯) を引込むものとする。

### 3-2. 制 御 盤 (既設流用)

- (1) 数 量 1 面
- (2) 形 式 屋外引込柱一体形 SPC 5.5KW 2 台用 通報装置内蔵
- (3) 箱体材質 鋼板製
- (4) そ の 他
  - 1) ポンプの運転方法は、並列交互運転とする。
  - 2) 水位計更新に伴い、盤内の水位計変換機の更新改造を行うこと。
  - 3) 設計図書を参照し、遮断器・コンデンサ容量、引込ケーブルサイズが適正であるか確認を行い、必要であれば改造・更新を行うこと。

### 3-3. 水 位 計

#### 1. 概 要

水位計の種類は投込式水位計とする。これら水位計の故障時のバックアップ用として、高水位 (HHWL) より上の水位にフロートスイッチを 1 個設けるものとする。

#### 2. 仕 様

##### (1) 投込式水位計

| 項 目         | 仕 様                                            | 備 考                             |
|-------------|------------------------------------------------|---------------------------------|
| (1) 形 式     | 投込水位計                                          |                                 |
| (2) 数 量     | 1 台                                            |                                 |
| (3) 電 源     | AC85～264V 50/60Hz 12VA                         |                                 |
| (4) 出 力 信 号 | 水位出力接点 5 点程度<br>水位出力 DC4mA～20mA                |                                 |
| (5) 材 質     | ウェイト本体 SUS304<br>水位センサ部 SUS316L<br>ケーブル EP ゴム  |                                 |
| (6) 精 度     | ±0.5%FS 以内 (水位変換機との組合せ制度)                      |                                 |
| (7) 付 属 品   | 水位変換機 1 個<br>吊上チェーン (SUS304) 1 式<br>専用ケーブル 1 式 | 変換機は盤内収納<br>(盤内水位変換機を<br>更新のこと) |
| (8) 計測レンジ   | 測定水位 ～10m                                      |                                 |

##### (2) フロートスイッチ (浮子転倒式)

| 項 目     | 仕 様            | 備 考  |
|---------|----------------|------|
| (1) 形 式 | フロート式          | 接点出力 |
| (2) 数 量 | 1 個            |      |
| (3) 材 質 | フロート ポリプロピレン樹脂 |      |

## 第4章 据付工事

### 4－1．据付工事概要

- (1) 本工事の施工にあたっては、監督員の指示に従い、本仕様書及び設計図書に基づき、関係法令、規定、基準に準拠し、責任をもって施工しなければならない。さらに作業の安全及び通行人等第三者への災害防止等についても十分に配慮し、安全対策を講じなければならない。
- (2) 機器の搬入、据付の際は、機器本体、構造物に対して損傷を与えることのないように注意すること。
- (3) 機器の据付の詳細については、施工図を提出のうえ、監督員の指示を受けること。

### 4－2．ポンプ設備工事

- (1) 機器の据付
  - 1) マンホール内のステップとマンホールセンターを基準にし、正確に墨出しのこと。
  - 2) 着脱ベンドの施工は特に水平垂直レベルに留意し、据付後機器の性能に支障をきたすことのないように十分に注意し施工すること。
- (2) 配管工事
  - 1) 配管の接合は漏水がないように正確、確実に行うこと。
  - 2) 配管の固定は、堅ろうに取付けのこと。

### 4－3．電気設備工事

- (1) 電線管工事
  - 1) 電線管は施工場所により、次の管を使用すること。
    - (A) 露出配管 鋼製電線管  
ケーブル保護用合成樹脂被覆鋼管  
金属製可とう電線管
    - (B) 地中配管 波付硬質合成樹脂管  
ケーブル保護用合成樹脂被覆鋼管  
合成樹脂製可とう電線管  
硬質ビニル電線管
  - 2) 地中電線管部については、ケーブル埋設シートを敷設のこと。

(2) 配線工事

1) 配線は使用目的により次の電線またはケーブルを使用すること。

(A) 電源回路 600V ビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVR)

2) 端子への接続

各端子への接続は圧着端子で行うこと。

4-4. 仮設工

(1) 施工前に十分現場調査を実施すること。仮設盤や仮設発電機などが必要な場合は、監督員と協議の上、施工すること。

(2) 既存マンホールポンプの水替えを行う場合、電気設備に詳しい技術者を同行させること。

(3) 圧送管、通信ケーブルを推進工法・開削工法で布設する前には、事前に試掘で地下埋設物の確認を行う。

また、推進工法（鋼製さや管推進一重ケーシング、二重ケーシング）を行う際の掘削面全面薬液注入を行う前にも試掘を行い、地下埋設物の確認を行う。

4-5. 撤去工

(1) 現場状況を十分確認の上、撤去すること。

(2) 本工事で発生した撤去品のうち、産業廃棄物及び有価物の対象となるものについては指定する場所への処分を行うこと。

1. 機器・弁類撤去工仕様および施工範囲

| 名 称       | 仕 様              | 出力  | 数<br>量 | 備 考     |
|-----------|------------------|-----|--------|---------|
| 水中汚水汚物ポンプ | 渦流型 φ80          | 5.5 | 2      | No. 1、2 |
| 水位計       | 気泡式 チューブ 30m     | —   | 1      |         |
| フロートスイッチ  | ケーブル 30m         | —   | 1      |         |
| 仕切弁       | 80A ボール式 SCS/SUS | —   | 2      | No. 1、2 |
| 逆止弁       | 80A ボール式 SCS/NBR | —   | 2      | No. 1、2 |
| 空気抜弁      | 25A ねじ込み式        | —   | 2      | No. 1、2 |

2. 配管去工仕様および施工範囲

| 配 管 名 称   | 口 径          | 管 種 | 施 工 範 囲             | 備 考 |
|-----------|--------------|-----|---------------------|-----|
| 槽 内 内 配 管 | φ25 φ80 φ100 | SUS | ポンプ吐出口<br>～槽内集合管取合部 |     |

### 3. 鋼製加工品撤去工仕様および施工範囲

| 用 途        | 数 量 | 形 状 ・ 寸 法                | 材 料 | 備 考 |
|------------|-----|--------------------------|-----|-----|
| 流入バッフル     | 1 組 | φ 200 φ 250<br>共用 L=3000 | SUS |     |
| 流入バッフル     | 1 組 | φ 200 用<br>L=1650        | FRP |     |
| 流入バッフル     | 1 組 | φ 200 用<br>L=1150        | FRP |     |
| 配管サポート     | 1 組 |                          | SUS |     |
| ガイドパイプ取付金具 | 1 組 |                          | SUS |     |